

臨時第2回評議員会議事録概要

平成26年12月11日午前11時、教育会館2階中会議室において、臨時第2回評議員会を開催した。

出席評議員 9人（評議員総数10人）

大川五郎、柏手茂、首藤幸子、関口博正、高岡捷二、中村勝光、
西山滋恩、平野恵美子、福澤正人

出席理事 伊藤裕、安達信行

定刻になったので司会者総務施設課長川村潔は開会を宣し、本日の評議員会は評議員10人中9人及び理事2人の出席を得ているので有効に成立した旨告げ、評議員会運営規程第8条第1項により評議員会会長が議長となり議案の審議にはいった。

議長は、本日の議題は、「議案第4号評議員及び役員の報酬等に関する規程の一部を改正する規程」、「平成26年度公益財団法人平塚市まちづくり財団収支補正予算及び資金収支補正予算（第2号）並びに資金調達及び設備投資の見込みについて」及び「その他」の3案件である旨を告げ、審議にはいった。

議案第4号評議員及び役員の報酬等に関する規程の一部を改正する規程

議長は、議案第4号評議員及び役員の報酬等に関する規程の一部を改正する規程について理事長に説明を求めた。理事長は、規程の改正理由として、当財団の役員報酬や職員給与は、平塚市に準じて定めているが、平塚市は国の職員給与の引き上げに準じて特別職の期末手当率を引き上げたことから、当財団の理事長と常務理事の期末手当率を引き上げることとしたが、理事長と常務理事の期末手当率を引き上げると理事長と常務理事の年間の報酬総額を超えるおそれがあることや最近の社会経済状況から今後の報酬額等の引き上げも考慮し、報酬総額を6600千円とすると説明した。議長が諮ったところ、出席評議員全員一致をもって原案を可決決定した。

議案第5号平成26年度公益財団法人平塚市まちづくり財団収支補正予算及び資金収支補正予算（第2号）並びに資金調達及び設備投資の見込み

議長は、議案第5号平成26年度公益財団法人平塚市まちづくり財団収支補正予算及び資金収支補正予算（第2号）並びに資金調達及び設備投資の見込みについて理事長に説明を求めた。理事長は、補正理由を職員等の給与、交通手当、期末勤勉手当の引き上げ等のための補正であること、また投資活動支出に係る予算を組み替えたことによる設備投資の見込みを変更する旨を説明した。議長が諮ったところ、出席評議員全員一致をもって原案を可決決定した。

その他

議長は、その他として意見等を求めたところ、理事長から平成27年度当初予算の編成時期を向かえていることから、予算編成の基本的な考え方として、第1次中期経営計画・事業実施計画の着実な実施、効率的経営に努め自主性を高める、公益目的事業の収支相償を図る、公益目的事業比率50%以上を満たす予算とする旨を説明した。評議員から今後の駐輪場の整備予定、事務所取得は費用に計上できるのか、第1次中期経営計画・事業計画が平成27年度で終了するがその後の計画の予定があるのかの質問が出され、理事長は、今年度は駅南側の八重咲町第2駐輪場の整備を行っているが、平成27年度では新たな駐輪場の整備を予定していないこと、事務所取得については減価償却費が費用として計上できること、平成27年度に新たに第2次中期経営計画・事業計画を策定する予定である旨を説明した。評議員から次の経営計画の策定を前提に、課題となっているパールロード等中心商店街に来る買物客の利便性の向上を図る駐輪対策について、駐輪場事業や自転車振興事業を行っている財団として、駅前の地下道や湘南スターモール等の利用も含め平塚市や中心商店街の関係者に提案するなど積極的に関わってほしいこと、また、財団の文化事業の場として利用している市民センターについて、耐震診断後に使用できるかどうか不明確な状況の中で、広く平塚市のまちづくりの視点からも新しい市民センターが必要となっていることを財団として平塚市に要望する必要があることの意見が出された。

以上をもって議案の審議を終了したので、議長は閉会を宣し11時50分閉会した。